

ほのか診察室

HONOKA Consultation room



シリーズ

第75話

変形性膝関節症に対する

人工膝関節置換術



市民病院
整形外科 代務医師

〔毎週木曜 午後担当〕
〔総合青山病院 整形外科〕

古橋 亮典

及川 道雄

監修

「膝の軟骨がすり減ってますね」
医師からこのようにいわれた経験がある人も多くいるのではないのでしょうか？

膝の軟骨が減って、痛みがでる病

気を変形性膝関節症といえます。変形性膝関節症の発生頻度は、50歳を過ぎると急激に増加し、60歳以上では人口の80%以上の人にレントゲン上で何らかの変化が出現し、約40%

に症状があり、約10%に日常生活に支障をきたしていると考えられています。



進行した変形性膝関節症

治療は、肥満の人は減量すること
が一番の治療で、筋力トレーニング
などの運動療法も有効です。医療機
関では、消炎鎮痛剤などの薬物療法
や、ヒアルロン酸の関節内注射が一
般的です。多種多様なサプリメント
も販売されていますが、その効果に
ついては医学的にはまだ結論がで
ていません。

人口の高齢化に伴い、高度の関節
変形を生じている患者さんも増えて
きています。変形が進むと、痛みが
ひどくなり日常生活に著しい支障が
できます。人工関節の耐用年数が
15年から20年であるため、70歳以上
の患者さんには、人工関節による手
術を勧められています。近年、膝の人工
関節手術を受ける患者さんの数は増

市民病院総務企画課 023-7852

えており、一年間に日本全体で5万
から6万件と推測されています。処
置には、変形の軽い膝には単顆置換
術を、進行した変形には全置換術を
行っています。



単顆人工膝関節
を入れた患者さんの
レントゲン写真



人工膝関節
(全置換術)



全人工膝関節
を入れた患者さんの
レントゲン写真

最近膝の痛みで日常生活に支障が
出ている方は、一度、医療機関へご
相談ください。